

謹賀新年

通信

あむーる



編集：八幡成人（やわたしげと）

「チーム八ちゃん」ホームページ：<https://teamhacchan.wordpress.com/>

1月号



●大学の中身・実態を知るには、「要項」「大学案内」やパンフレットも役立ちますが、一番いいのはその学校に通っている学生にいろいろと聞くのが一番です。今回は年末に訪ねてくれた中西葉菜（なかにしはな）さん（現在3回生）に、秋田の国際教養大学(AIU)に関して、いろいろと聞いてみました。参考にしてください。中西さんは松江北高から、初めてAIUに合格した生徒です。★★★

八幡：憧れだった国際教養大学(AIU)に入って一番良かったと思うことは何ですか？

中西：普通の大学に行っていたら会えないようなすごい人に会える。世界銀行とか国連のような。彼らの生の話を聞いていると自分の「夢」が「目標」に変わる。

八幡：4年で卒業できない人が半分以上いると聞きましたが、学生間の人間関係はいいんですか？

中西：滅茶苦茶仲良くなる。先輩とのコネクションができる。NTT、楽天、星野リゾートなどで、優遇ルートがある。それを利用すれば管理職や幹部に早く昇進できる。仲がいいので、先輩たちから仕事を、最先端を見せてもらえるのが楽しい。

八幡：寮生活は苦しくなかったですか？

中西：苦しかったし、楽しかった。金持ちもいる。インドの田舎から奨学金ももらって来ている人も。ここで培える交渉力は貴重。寮は1回生→3~4人部屋→2回生→2人→3回生→1留学→4回生→1人。図書館やパソコンルームへ籠もるので、寮は寝る場所ではない。

八幡：山の中不便な所にキャンパスがあって、学生はバイトはできますか？どのようなバイトをしていますか？

中西：バイトをしたいなら、グローバルクラウン（英会話のオンライン）40分で940円。私はバスでイオンへ（交通費支給）、ナイキショップで、時給900円でバイト。ほぼ全員がバイトするが、金持ちは例外。開成や洛南からも来る。

八幡：1年次から授業が全部英語ですが、ついていくのが大変ではないですか？

中西：大変。書く、読むができないから大変。最初の方は厳しい授業。クラス分けは、入学式前日に宣告。1（英語だけ1年半English for Academic Purposes）、2（1年）、3（半年）。1、2の人はもうこの時点で4年で卒業できない。3分の1は4年半または5年かかる。入学式の日に泣く人がいるのはこういう訳。それだけ競争は激しい。大学側は、4年で仕上がるはずがないというスタンスで指導。

八幡：図書館が非常に充実していると聞きましたが、遅くまで勉強するのですか？

中西：広いけど収まりきらない。パソコンルームも利用している。県立大学なので土・日は高校生も来るから、大変。入学して一週間は寝れない。やがて、大変⇒楽しいに変わっていく。

八幡：大学のテストは大変ですか？単位を落とす学生も多いんですか？

中西：論文提出（英語）。1・2年は10~15ページ。3年生になると30ページ。1・2年は厳しい。職員室にどれだけ来たか、過程を見る。先生に助けってもらって単位を取る、一人一人の評価基準は異なる。GPA*は毎日更新される。それによって留学先も決まるので、上げるために努力。

八幡：就職率は100%と聞きましたが、本当ですか？またどんなところに就職が多いんですか？

中西：ウソです。大学院進学もある。そ

れも就職とみなすので100%となる。

東京大学、一橋大学、海外の大学院、東証一部上場大企業。これらの企業は大学に出資しているので、就職も一発面接でノーと言えない。300社。毎年減っている。海外志向が多いので、三菱UFJでMBAを取らせてもらってモルガンスタンレーに転職。こうしたことは嫌われる。

八幡：4年間の学生生活で一番苦しかったことは何ですか？

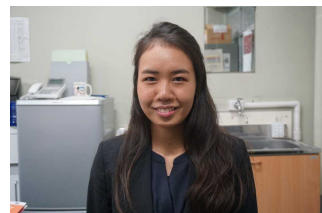
中西：特にない。苦しいと思うか楽しいと思うかだ。受験が楽しかった人は大丈夫。

八幡：大学の問題点、嫌いな点はありますか？

中西：大好き。ロケーションが東京と違い、研究会・シンクタンクと触れられない欠点はある。でも学生主催の講演会も多し。（例）ニューヨーク国際映画祭に出ている監督がハーバード、イェール、AIUで講演。面白い人はたくさん来る。会いたい人に会うには馬力がある。誰と友人付き合いをするかが大事。悪い友人に引きずり混まれないように注意。

八幡：後輩たちにこれだけは言っておきたいことはありますか？

中西：本を読め！！日本語で勝負できるだけの。英語はぐちゃぐちゃでも、先生は組み立てや思考回路をしっかりと見返。それに沿って作文が書けるかがカギ。♥



*GPAとは「Grade Point Average」の略で、欧米では多くの大学が成績の指標として取り入れています。昨今、日本でも取り入れる大学が増えており、就活でも注目されるようになりました。科目ごとに四段階（1~4）で表した評定にその単位数を掛け、それらを全て足した数を総単位数で割ったものです。

